

財政通信 NO. 3

平成 17 年 10 月

9 月議会、いわゆる決算議会が終了し、またまた予算編成の時期がやってきてしまいました。
(けっ、血圧があ～)

息の抜けない毎日が続きますが、体調にはくれぐれも注意してください。

財政のスタッフの面々も日々忙しい仕事を懸命にこなしています。手が空いているスタッフがいなく、自分で下手なパソコンを操作(-_-;)でも最近上達してきました。

両隣の部長や補佐よりは上手かも・・・(^_^)v

さて、7 月に今年度の財政運営を左右する普通交付税の算定も終了しました。当初予算ベースの確保は何とかできましたが、予想通り前年度より 4 億円減額されました。今、予想をはるかに超える地方財政改革が進んでいます。目標に向けて、一つ一つ順調にこなしているつもりですが、今ひとつ頭がすっきりしません。常に頭に引っかかっているものがあります。財政収支になかなか明るい兆しが見えてこないからです。

10 月は特別交付税の要望の時期でもありますが、今年も各地で災害が多く、期待できません。(2 割減の報道、あきらめてはいけません)

財政推計のローリング作業を行っていたところ、衆議院解散総選挙に突入し、やむなく中断。

自民党の圧勝で改革路線も一層加速されると思い、「覚悟」だけは万全にできていますが、どう対応するか決めていかねばなりません。

交付税の削減や臨時財政対策債の廃止は、想定範囲内(古っ)ですが、税源移譲が見えてきません。このままでは、皆さんに提示できないくらい悪い結果をお知らせするほかありません。制度の概要が具体化するまで、もう少し待ってください。

新聞によると、来年度の交付税が、国の概算要求で 2.7%・・・来年も減額かぁ(ToT)

(単位:百万円)

| 区分 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 地方交付税等 | 4,099 | 4,133 | 4,319 | 4,993 | 4,342 | 3,838 | 3,723 |
| 普通交付税 | 3,369 | 3,104 | 2,943 | 2,878 | 2,698 | 2,559 | 2,482 |
| 臨時財政対策債 | | 330 | 690 | 1,469 | 1,064 | 815 | 791 |
| 特別交付税 | 730 | 699 | 686 | 646 | 580 | 464 | 450 |

平成 16 年度までは決算ベース、17 年度以降においては見込額。

今回は、財政の状況やわかる範囲での今後の見通しについてお知らせします。

過去 5 年間の財政状況を作成して、分析してみました。

H16 年度決算は、実質赤字？

私から見れば、H16 年度決算は、赤字という認識です。実質収支で約 6 億円超の黒字となっていますが、それを上回る基金取り崩し(約 8 億円)があったからです。

基金のうち、総合運動公園施設整備基金のように事業の進捗に合わせて使う基金の取り崩しは、当たり前です。

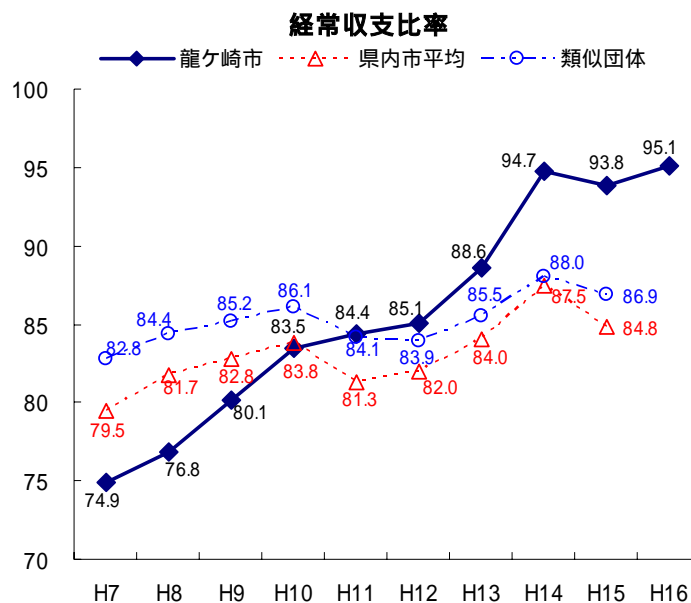
しかし、地域振興基金、公共施設維持整備基金、義務教育施設整備基金などは目的基金ですが、将来に残しておくことが可能な基金です。今回は、財源が不足したため、やむを得ず該当する事業に使った、というわけです。(涙)

H17 年度は、さらに厳しい状況です。当初予算では目的基金 7 億円のほかに、財源不足をカバーする財政調整基金や減債基金 8 億円の取り崩しを見込んでいます。なんと 15 億円です。(大変な額ですが要求ベースでは 31 億円不足していたんです。)

なんとか、年度内にこの 8 億円だけは戻したいです。9 月補正で 2 億円戻して、あと 6 億円です。インセンティブ予算執行制度の活用により、執行額縮減に向けた努力、アイデアのある取り組みを職員の皆さんに期待しています。

財政指標は、改善には遠く...

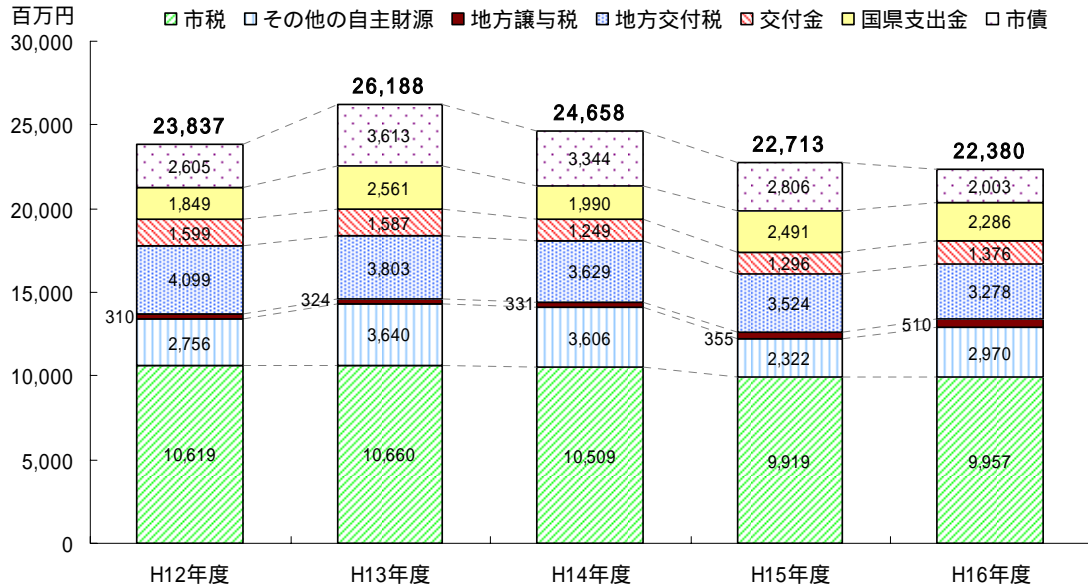
経常収支比率 95.1%で前年度よりも上昇！



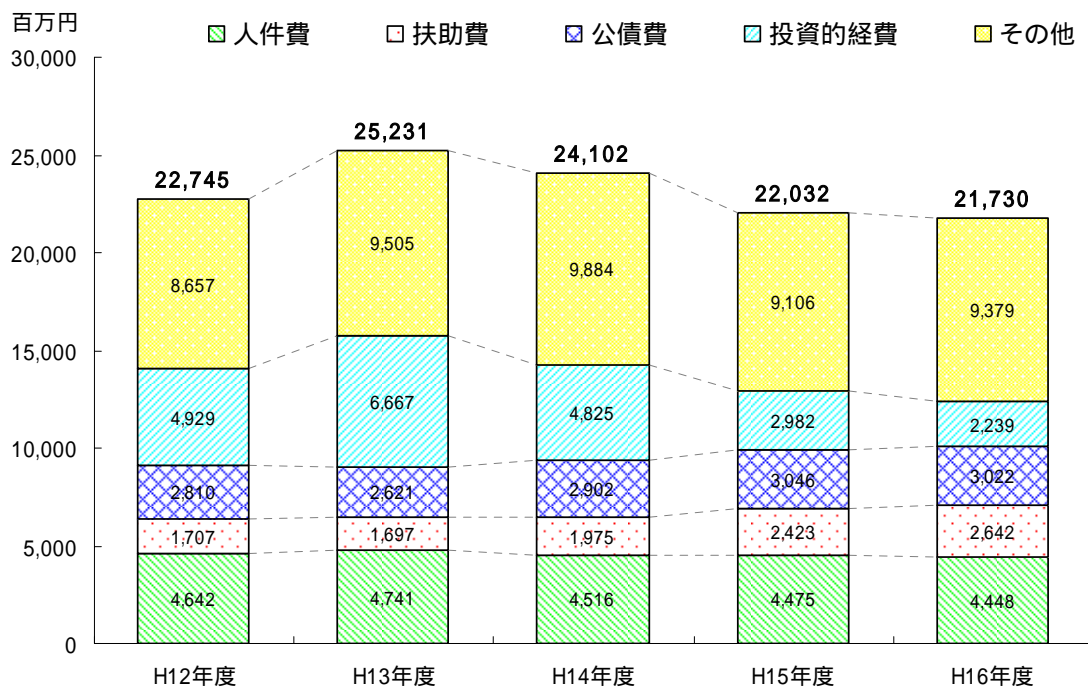
財政健全化の取り組みは進んでいます。がしかし、一般財源が大きく減少したため、指標がなかなか改善しません。普通交付税等が 6 億円減少したことが大きな要因であり、もしこの減少がなければ、比率は 91%で改善していたのです。

歳出では、市民の理解や職員の協力で、人件費、物件費、補助費等が抑制されています。上昇しているのは、少子高齢化が反映されている扶助費と公債費。

普通会計決算の推移(歳入決算の推移)



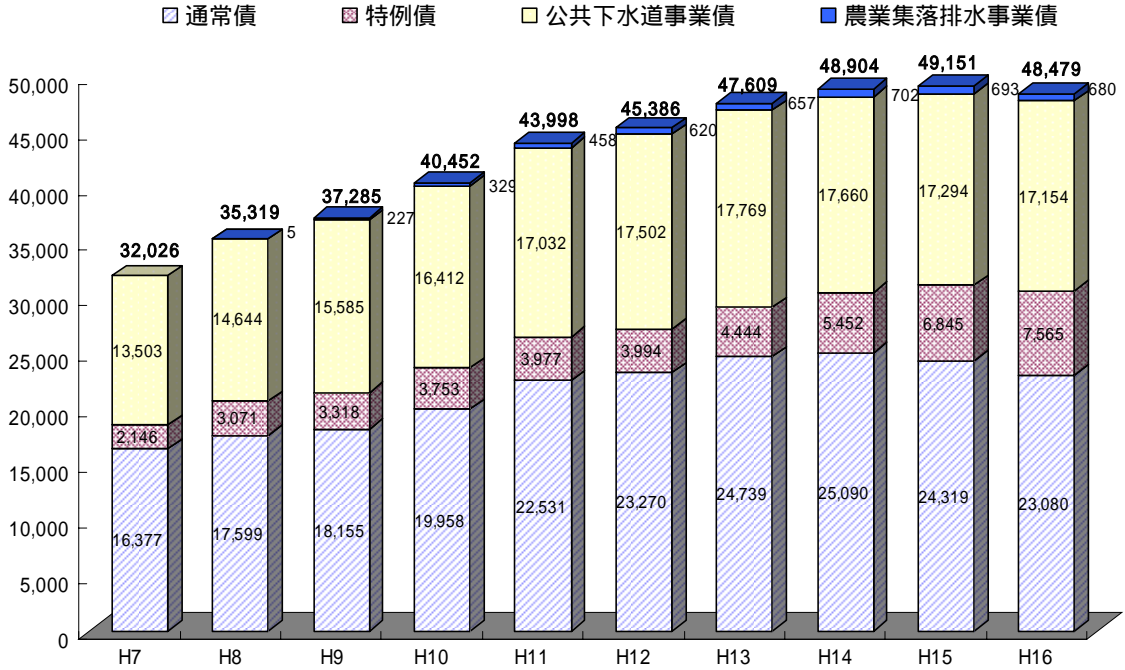
普通会計決算の推移(歳出決算の推移)



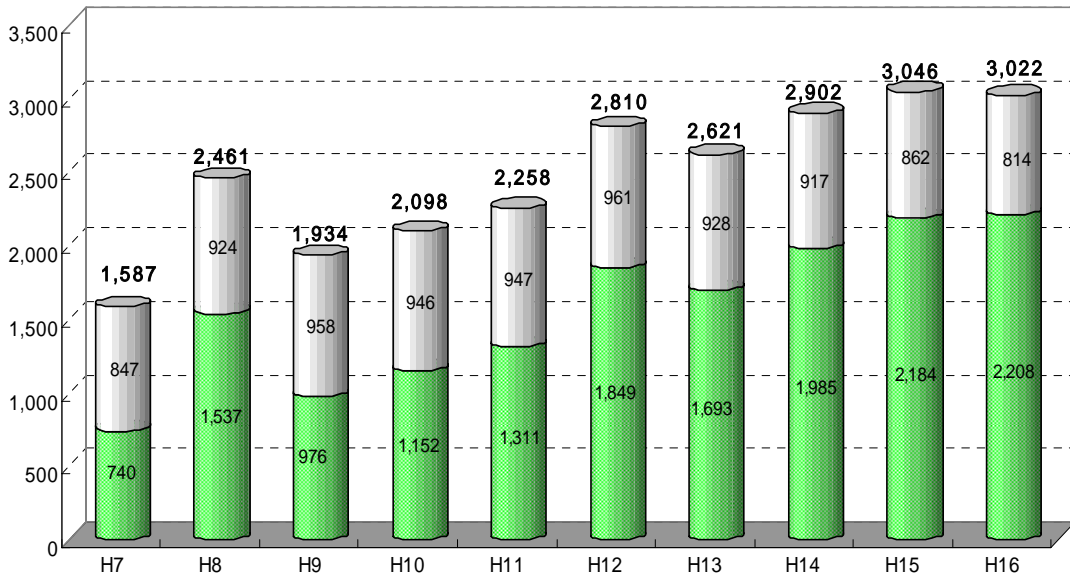
実質債務の償還は 19 年度がピークに！

公債費を含めた実質債務は今が償還のピークです。起債償還費，債務負担行為償還費，清掃工場起債償還費のトータルでは，毎年 60 億円程度の支払いが予定されています。今のところ，これが 22 年度まで続くんです。（公私ともにローンの支払いはつらいです。）

市債残高の状況



普通会計公債費の推移



～ ロード TO 健全化 ～

財政改革を進めています、いつになったらよくなるんだ、と思っている人もいます。今のところ予想がつきません。昔の高度経済成長期と違って、あの時のような回復は今後見込めないと思います。国では、「小さな政府」を目指していますが、市町村も規模が縮小されるのは間違いありません。最終的には、収入(税収)に見合った規模にするのが、無理のない形だと思います。

行財政改革は、総論ではみんな賛成なんです。しかし、各論に入りますと関係者の理解を得ることが非常に困難な場合があります。少しばかりの補助金を減らして、なぜあれを減らさないんだとか。あちはよくて、なぜこれはだめなんだとか。考え方など説明責任はとても大事です。また、組織全体として各論に踏み込んで、具体的な案を示し、改革に対する強い決意をもつことが必要です。

最近取り組んでいること

三位一体改革による地方交付税の大幅カットが実施されています。それでは、この削減を受けてどう対応していけばよいのか。当たり前ですが、収入を増やして、支出を減らすしかありません。単年度限りの増収入、支出減額ではダメです。長期的な不足に対応するためには、構造的な改革が必要です。将来につながる改革をどう進めるかです。

歳出では、社会保障費(扶助費と繰出金)と公債費の伸びを抑制したい！

内部管理経費は、皆さんの努力により、縮減傾向にあります。人件費も、定員削減などを中心に抑制傾向にあります。退職負担金の引上げなどもあって、そんなには減ってないんです。

課題は、医療費や介護給付費の上昇です。高齢者の医療費の抑制、介護予防が必要です。健康づくりや予防対策を進め、元気高齢者への応援をしていきます。

公債費は、償還のピークに近づき、これから最も厳しい時です。償還の平準化を進めていくため、借入金の償還を延長して、厳しい期間を乗り切る考えです。17年度では、25億円について、5～10年延長して、単年度あたり1億3,000万円軽減しました。

また、今まで整備してきた公共施設は、年数が経ち、設備の更新や老朽化に対応しなければなりません。これまで、専門家によるマネジメントの導入により、維持管理経費の削減に取り組んできましたが、これからは固定化される改修費削減に向けた取り組みが必要です。昔の考えは、耐用年数がきたら建替えする方向でしたが、今は無理です！！いかに施設の延命化を図るか、そして改修コストを下げっていくかです。

いよいよH18年度予算編成のスタートです！

厳しい状況に変わりはありません。しかし、ただ単に減額すればいいって言うもんじゃありません。まず、お金をいかに有効に使うかが基本であり、次は、優先度ではないかと思います。

何年も続けている事業は考えてください。

また、10 月末は、今年度のインセンティブ予算要求の締切日です。各部等で提案事業があれば来年度予算への配分も予定していますので、よい提案をお願いします。

今回の決算を含めた分かりやすく、見やすい(自分で言うのもなんですが…)財政状況を作成しました。市のHPにUPしますので、ぜひ見てください。

次回は、予算編成状況についてお知らせする予定です。